

地球ひやし部会



谷口永峻議長

次に、地球ひやし部会 23番 宇都宮大学教育学部附属中学校2年 高橋真実さん、35番 文星芸術大学附属高等学校1年 横山昂司さん。

23番 高橋真実議員

議長，23番

35番 横山昂司議員

議長，35番

〔23番 高橋真実議員，35番 横山昂司議員 登壇〕

23番 高橋真実議員



23番，宇都宮大学教育学部附属中学校の高橋真実です。「再生品提供」に対する取り組みについて提案いたします。

現在行われている取り組みは，クリーンパーク茂原に持ち込まれた粗大ごみなどの中で再利用できる自転車や，たんす，本棚などの家具を市の職員が修理し，センター内に展示，後日，希望者の中から抽選で選ばれた方に経費と交換で提供するというものです。これは，まだ使うことのできるものを再利用することによって，ごみを減らすこと

ができ、地球温暖化の原因となるCO₂の削減にもつながります。

しかし、クリーンパーク茂原は市の南部に位置しているため市の中心部から遠いため、市民の多くが展示された再生品を見る機会が少なく、再利用できるものを持ち込むことも難しいのが現状です。

そこで、私たちは、市の中心部にクリーンパークの仕組みを取り入れたリサイクルショップを設立してはどうかと考えました。具体的には、中心部の人が集まるところに市営のショップを設立し、市民に再利用できる自転車や家具、不要になった衣類などを持ち込んで頂き、引き取ります。それ以降は、クリーンパークと同様の方法で希望者に提供するのです。そうすれば、さらなる宇都宮市のごみ削減につながるとともに、市民のリサイクルに対する意識も高まります。

さらに、宇都宮市を緑にあふれたまちにし、CO₂削減に貢献するため、提供する際に頂いた経費の一部を「都市緑化基金」に募金してみたいはいかがでしょうか。

次に、この取組みを認識している人が少ないので、現在再生品提供の情報を載せている市のホームページをより分かりやすく、すばやく再生品を確認できるように改善して頂きたいと思います。また、パソコンを利用しない人もいますので、市の広報紙『広報うつのみや』に掲載し、より多くの市民がこの取組みを活用出来る様にして頂けないでしょうか。

このような取組みによって、市民の環境に対する意識が高まり、それが宇都宮市から全国に広まっていくことを私たちは願います。

以上で提案を終わります。よろしく申し上げます。

35番 横山昂司議員

35番、文星芸術大学附属高等学校の横山昂司です。「カーボンオフセット」について提案します。

近年、地球温暖化が進んでいますがそれを抑制するために、「カーボンオフセット」を導入していただきたいと思います。

「カーボンオフセット」とは、日常生活で必ず出してしまうCO₂を吸収する木を育てることで、排出してしまったCO₂を埋め合わせようというものです。

例として、岐阜県、郡上市内で行われていたカーボンオフセット募金を参考にしたいはいかがでしょうか。この事業では一口1000円と一口5000円の募金がありましたが、宇都宮では、もっと手軽に一口1000円と一口500円とするのはどうでしょうか。一口1000円と500円というのは、1000円で年間3本、500円でも年間1.5本のヒノキが育てられると言われているからです。

また、スーパーやコンビニに募金箱を設置し、そこで集まったお金をカーボンオフセットに募金するというのもどうでしょうか。

そして、このことに関心をもってもらえるように、家庭で排出しているCO₂の量を簡単に調べられ、なおかつ宣伝できるようなパンフレット等を作成して、会社や小中学校・高等学校に配布し、実行してもらえたら、多くの人に知ってもらえ、興味を持っていただけるのではないのでしょうか。

これらを行うことにより、少しでも地球温暖化に歯止めをかけられるのではないかと思います提案い



たします。

以上で質問を終わります。よろしくお願いいたします。

佐藤栄一宇都宮市長

議長，市長

谷口永峻議長

市長

〔佐藤栄一宇都宮市長 登壇〕

佐藤栄一宇都宮市長

「地球ひやし部会」のご質問に、順次お答えいたします。

まず、高橋議員の「再生品提供事業について」であります。宇都宮の環境のことを大切に思う気持ちにあふれた議員のご質問にとっても感心いたしました。

本市環境学習センターでは、平成13年度から、ごみとして排出された家具や自転車のうち、まだ、使用できそうなものを修理し、市民の方々に有償で提供しており、平成19年度末までに合計約3,400点を提供し、ごみの減量化やCO2の削減に努めてまいりました。

こうした「再生品提供事業」につきましては、市民への環境に対する意識の高揚や限りある資源を循環できる社会への転換を進める上で、有効な手段であります。議員ご提案の「市中心部へのリサイクルショップの設立」につきましては、民間においてリサイクル事業が活発化しており、こうした取組の今後の動向把握が必要でありますことから、まずは、市中心部の表参道スクエア内にある消費生活センターで行っている「暮らしの用品リサイクル事業」での家具やベビー用品等の交換・仲介サービスに併せ、環境学習センターでの「再生品提供事業」につきましても情報の提供に十分努めてまいります。

次に、「経費の一部の『都市緑化基金』への募金について」であります。当事業の売却益につきましては、家具等を再生するための経費に充てておりますが、清掃工場に持ち込まれる家具等が、年々減少してきておりますことから、今後の推移を見ながら、活用方法について研究してまいります。

次に、「周知方法について」であります。市のホームページや広報紙の掲載内容などについて充実を図り、広く市民にお知らせできるように努めてまいります。

今後とも、市民、事業者、行政が一体となって、「環境にやさしいまちづくり」に、引き続き、取り組んでまいります。

次に、横山議員の「カーボンオフセットについて」であります。

地球温暖化問題について深く考え、解決するための具体的な取組の提案に大変感銘を受けました。

地球温暖化防止は、私たち人類が、今、まさに取り組まなければならない切実な問題であります。

議員ご指摘のとおり、緑を育て、守ることは地球温暖化の防止にとって、大変重要なことであると考えております。

本市では、平成17年度から地球温暖化対策やリデュース、リユース、リサイクルの、いわゆる3Rの推進などを目的に、本市独自の「もったいない運動」に取り組んでおり、本年6月に開催した「第2回もったいない全国大会」では、市内の小中学校99校で緑を増やすための記念植樹を行いました。

また、本年度より、ごみ焼却灰で埋め立てられた、長岡町の最終処分場跡地を自然豊かな森に回復するため、10年程かかりますが、市民が主役となって苗木を植え付ける「もったいないの森 長岡」の植樹を始めたところであり、今後も、引き続き、実施してまいります。

議員ご提案の「カーボンオフセット」は、議員ご説明のとおり、自らが直接削減できないCO₂をCO₂の吸収源である「緑」を育てる活動や、太陽光発電などの自然エネルギー事業に投資することなどで、オフセット、すなわち、埋め合わせをする取組のことであります。

この取組には、参加した人たちが、削減したCO₂の量を目に見える形で理解できるなどの効果があるといわれており、今後、市民の皆様が広く参加できるような、本市の特性を活かした「カーボンオフセット」の仕組みや普及方策などについて、調査・研究を進めてまいりたいと考えております。

また、本市では、市民の皆様には、家庭から出るCO₂を減らし、環境にやさしい生活を実践していただくため、「みやエコファミリー認定制度」や「もったいない宣言」などを推進しており、より多くの皆様に取り組んでいただけるよう、創意工夫を図りながら、更なる普及促進に努めてまいります。

地球はわれわれだけのものではありません。これからの子ども達、そして更にその子ども達、またその子ども達と、これからも永遠に使っていかねばならない、大切なものです。大切な星です。これからも、少しでもいい形で、次の世代に渡していくこと、これがもっとも大切なものです。

今後とも、「人やもの、地球を大切にすること」である「もったいないの精神」のもと、市民の皆様とともに、地球温暖化対策に、より一層、積極的に取り組んでまいります。

谷口永峻議長

以上で、地球ひやし部会の質問を終わります。

質問者が半数を終了しましたので、暫時休憩いたします。再開は2時5分といたします。なお、再開後の議事運営は副議長と交代いたします。

